

絲綢之路

シルクロード

S I L K R O A D

2021-秋

No.97

●表紙の画および題字は、
故・平山郁夫画伯のご厚意により
ご提供いただいているものです。



アフガニスタンの砂漠を行く 2007年



【葡萄唐草模様について】

古代、ペルシャ、コーカサス生まれの葡萄が蔓草と一つになり、西へ、東へ、シルクロードを経て東西の文化を彩る文様となりました。私どもの財団ではシルクロードを中心に、世界の文化に寄与できればと、この葡萄唐草文様をシンボルマークにいたしました。

●シンボルマークデザイン：吉田左源二

公益財団法人

文化財保護・芸術研究助成財団

FOUNDATION FOR CULTURAL HERITAGE AND ART RESEARCH

本年四月より松本伸之前館長の後を引き継ぎ、奈良国立博物館（以下、奈良博）の新館長となりました井上です。

奈良博は、東京国立博物館に次いで開館した日本で二番目に古い国立博物館です。興福寺や東大寺、そして春日大社などに囲まれた奈良公園内に位置しているため、野生の鹿たちが博物館の前庭を闊歩しています。こんな光景を目にすることができ博物館は、世界広しと言えども、ここ奈良博しかないでしょう。

奈良に国立博物館が誕生したのは明治二十八年（一八九五）。その背景の一つには、廃仏毀釈等、近代初頭の混乱を経て生まれた「歴史を顧み、文化財を守ろう」という機運の高まりがありました。その基盤は明治七年（一八七四）に設立された半官半民の「奈良博覧会社」による博覧会の実施によって育まれたと言えます。正倉院宝物をはじめ貴重な寺宝類が陳列されたこの博覧会は、東大寺大仏殿廻廊を会場として会社設立の翌年から明治二十三年（一八九〇）まで続けられました。この博覧会によって地元奈良の活性化が図られるとともに、明治維新後の諸制度の刷新によって荒廃・散逸の恐れのある多くの文化財は、広く一般の人々に貴重な遺産として認識されるようになりました。こうした状況の中、社寺に伝わる多数の「名器・重宝」を博物館で保管し、公開してその価値を広く世間に知らせるとともに、それらの保存に協力することを目的に奈良

博は誕生したのです。

奈良博は現在、先史から近代までの約二〇〇〇件にのぼる多彩な文化財を収蔵していますが、とりわけ仏像、仏画、写経、仏教工芸に優れた作品が多く、その内容は、まさに「仏教美術の殿堂」と言うにふさわしいものになっています。そして、これに加えて、多くの社寺などから寄託をいただいている約二〇〇〇件の作品が奈良博の魅力をさらに増幅してくれています。

奈良博には、なら仏像館・青銅器館・西新館・東新館の四つのギャラリーがあります。奈良博を象徴する建物と言え、やはり、なら仏像館です。

なら仏像館は、開館当初の建物である旧帝国奈良博物館本館（重要文化財）を平成二十八年（二〇一六）に改修したものです。この旧本館は迎賓館赤坂離宮や東京国立博物館の表慶館、京都国立博物館の明治古都館などを手がけた宮内省内匠寮の建築家、片山東熊の設計によるもので、博物館建築としては日本最古級のものです。現在は、飛鳥時代から鎌倉時代にいたる日本の仏像を中心に、国宝、重要文化財を含む常時一〇〇体近くの仏像を展示する、国内の博物館でもっとも充実した仏像の展示施設となっています。かつて、ここには法隆寺の百済観音像や興福寺の阿修羅像など、古都奈良の名だたる寺院の仏像も並んでいました。

奈良博にはこうしたギャラリーのほかにも重要な施設があります。博物館の裏手にある仏教美術資料

研究センター（建物は重要文化財）もその一つです。ここは仏教美術に関連する調査研究資料の作成・収集・整理・保管と、関係する図書・写真などの公開を目的として昭和五十五年（一九八〇）に設置された、他の国立博物館にはないユニークな施設です。そして、もう一つ。平成十四年（二〇〇二）に開設された文化財保存修理所です。ここではさまざまな分野の国宝や重要文化財等の保存修理が専門の修理技術者によって行われています。奈良博の研究員たちはそれに対する助言や助力、ならびに修理についての調査研究を行い、そこで得られた情報を広く一般に提供し、文化財の保存修理に関する理解促進にも努めています。

文化財の保護を目的として誕生した奈良博。そこには歴史・文化が凝縮された文物を守り、その価値を広く共有し、それを確実に次世代に継承していくこととする人々の営みがありました。この人々の熱き思いをしっかりと受け止め、仏教美術研究センターとしての役割も十分に踏まえつつ、さまざまな文化財と奈良のもつ歴史・文化的景観の有機的な連携を念頭に活動し、新たな奈良文化の発信の拠点として、多くの方々に親しんでいただけるような博物館を目指したいと思います。

多くの文豪たちも愛した「静かなる仏教美術の聖地、奈良博」へ、皆様も是非お出かけください。

静かなる仏教美術の聖地——奈良国立博物館



奈良国立博物館
館長
井上 洋一
(いのうえ ひろいち)

日本のユネスコ世界遺産1

比叡山延暦寺根本中堂

(古都京都の文化財)



ユネスコ世界遺産（文化遺産）シリーズ

撮影・仙波志郎

一九九四年に「古都京都の文化財」として、京都市、宇治市、大津市にある十七件の神社・仏閣等が世界遺産に登録された。天台宗の総本山である比叡山延暦寺もその一つ。広大な寺域の中に散在する諸堂の中で中心的な存在が国宝の根本中堂。伝教大師・最澄は延暦七年（七八八）に根本中堂の起源といわれる一乗止観院に自ら薬師如来を刻み、安置された。この時、仏さまに捧げられた灯火は後に「不滅の法灯」とよばれ、今も根本中堂に点っている。

比叡山には参詣や観光のため多くの人が訪れる。しかし、ここは修行の場であって、今も最澄が定めた「山家学生式」にのっとり十二年籠山行とよばれる厳しい修行生活をおくる待真僧がいる。

京極フアンドによる

吉田家文書の修復事業について

東日本大震災の発生から十年。
津波により甚大な被害を被った吉田家文書。
地方史をつづったこの貴重な古文書が
「京極フアンド」により今、よみがえろうとしている。

東京国立博物館名誉館員
保存科学者
神庭 信幸
(かんば・のぶゆき)



吉田家文書のレスキューから 始まった

二〇一一年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震が引き起こした大津波によって、陸前高田市立図書館に保管されていた吉田家文書は八万冊余りの一般図書とともに被災した。図書館に隣接する市立博物館や埋蔵文化財収蔵庫も甚大な被害を受け、同じエリアに建つ市立体育館では避難してきた大勢の市民が犠牲となった。

県指定文化財の吉田家文書は鉄扉の付いた貴重本庫に収められていたため、幸いにも流出を免れた。同年三月三十日になって元市立博物館職員と嘱託員は、身の回りの日常品を津波に流され何一つない状況の下、被災した文化財の救出活動を開始する。一ノ関博物館、岩手県立博物館の応援を得て、四月二日と三日の二日間で吉田家文書と市史編纂に関わる行政文書運び出した。文書を入れた八六〇余りのビニール袋は、安全な一時保管先として岩手県立博物館に運び込まれた。ガソリン不足や被災地に向かう緊急車両を優先するための通行規制、避難所への支援物資の輸送の優先、

そして人命救助と大地震による犠牲者のご遺体捜索が続くなか、当時文化財の救出に動き出すのはかなりの躊躇があったに違いない。

大肝入吉田家と吉田家文書

藩政時代、現在の大船渡市、陸前高田市、住田町、釜石唐丹は気仙郡二十四カ村からなる仙台藩の領地であった。郡奉行や代官の下で村役人として年貢の取りまとめと納入事務を司る大肝入は代々の世襲制で、苗字帯刀御免をはじめとするさまざまな特権が与えられていた。元和六年（一六二〇）に初代宇右衛門が伊達政宗から大肝入を任じられ、明暦から元禄、元禄から宝永の一時期を除き、明治の廃藩まで気仙郡の大肝入を務めた吉田家は、まさに当地きつての名家と言える。

代々大肝入を世襲してきた吉田家は、寛延三年（一七五〇）から明治元年（一八六八）までの一八八年間分の執務日記「定留」九十五冊、文政期に作成された気仙郡の村絵図二十九点など、貴重な史料を保存継承してきた。それらは平成元年（一九八九）に陸前高田市立図書館に寄託され、平



吉田家住宅の惨状

成七年（一九九五）には岩手県指定文化財に登録された。文化財レスキューによってこれらの史料は救出されたが、吉田家の土蔵に保管されていた「伊達政宗黒印状」（元和六年極月三日）は津波で



救出中の吉田家文書



修復された吉田家文書「定留」（文政三年）

安定化処理はあくまでも劣化の進行を抑制するための処置であり、破損部分などに対する本格修理はその後の後に行うことになる。安定化を終えた定留は国立国会図書館東京本館に搬送され、二〇一二年十月から二〇一四年九月にかけて、七万頁に及ぶ全ての頁が一枚一枚手作業で再洗浄、損傷部の補修と整形などの本格修理が施された。安定化処理を実施した後、二〇一二年二月に東京国立博物館に搬送された村絵図は、本紙同士の継ぎ目を接着するなどの応急修理が施され、再び岩手県立博物館に戻り本格修理に必要な準備を整えながらその時を待った。

津波で被災する前、吉田家の敷地には主屋、味噌蔵、納屋（長屋）、土蔵が建ち並び、その配置は嘉永五年（一八五二）の屋敷絵図に描かれたものと同様で、住宅は大肝入当時の状況を今に伝える貴重な遺構であった。残念ながら津波によって建物すべてが破壊されてしまったが、救出された主屋の部材を使った復元工事が進められている。令和七年三月には竣工の予定である。

吉田家文書と吉田家住宅の 保存

岩手県立博物館に運び込まれた吉田家文書は、塩、汚泥、雑菌、油脂などにまみれ、そのままでは化学物質や黴の影響で腐朽する恐れが非常に高く、脱塩、除泥、除菌、脱脂を行って劣化を抑制し、文書を安定な状態に戻す必要があった。しかし、こうした作業は前例がないため、洪水で冠水した資料の保存、あるいは湿地帯で出土した資料の保存方法などを参考にしながら試行錯誤を繰り返し、徐々に安全で確実な手順として「安定化処理」技術が確立していった。



本格修理を待つ高田村絵図

京極フアンド



記者会見にのぞむ京極夏彦先生と当時の宮田亮平理事長

このたび、作家京極夏彦氏が津波によって水没した古文書類の修理のために提供された寄付金「京極フアンド」により、村絵図全点の本格修理を開始することになった。現地陸前高田市では令和四年秋に新しい市立博物館が開館する予定で現在着々と準備が進んでいる。陸前高田の風土、歴史、文化を知る上でなくてはならない吉田家文書は、新しい博物館の展示室で訪れる人びとにそれらについて多くの事を語りかけてくれるだろう。

恐らく、震災による被災、救出、安定化、そして修理についても……。

――筆者略歴――

一九五四年島根県生まれ。一九七七年東京都立大学理学部物理学科卒業、一九七九年東京藝術大学美術研究科大学院修士課程保存科学専攻修了、一九九七年博士号取得（美術、東京藝術大学）。創形美術学校修復研究所研究員、ローマ保存修復国際センター研究員、国立歴史民俗博物館助教授、東京国立博物館学芸部保存修復管理官、同館保存修復課長、日本学術振興会学術システム研究センター研究員などを経て、二〇一七年三月退職。同年四月よりフリー。専門は保存科学。臨床保存学を提唱し、アート・アーティスト・コレクターの尊厳を守るための活動を展開している。著作は「博物館資料の臨床保存学」（武蔵野美術大学出版局）ほか

今、真に求められている人

「ブッダと白隠禅師展」によせて

江戸時代中期の禅僧で、

臨済宗中興の祖と称される白隠禅師慧鶴。

ブッダの心を書画を通して

知らしめようとした禅師の心底にあるものは……。

今、なぜ白隠禅師か

この度、日本が生んだ偉大なる禅僧・白隠禅師（二六八五〜二七六八）の書画を一人でも多くの方に目にして頂けるよう複製し、仏教の開祖であるゴータマ・ブッダ（釈迦牟尼世尊）の聖地の写真お



ガンジス河の夜明け（撮影・丸山勇）

よび「ブッダのことば」と共に展覧することとなりました。すでに本年七月、相模原市民ギャラリーにて内覧会を、またその後インド大使館においてオープンングセレモニーを挙行し、今後三年間にわたり全国巡回（いずれは海外での開催をも視野に入れておりますが）して参りますが、本展開催に際し、公益財団法人・文化財保護芸術研究助成財団様には、いち早くご賛同くださり、ご後援頂いております事、本紙をお借りして改めて篤く御礼申し上げる次第です。

本展は、ブッダのことばと写真家丸山勇氏によるブッダの聖地の芸術的な写真、厳しい修行と悟りの深みから生み出された白隠禅師の秀逸なる書画をご覧いただく美術展であることはもとより、さらに進んで、写真や書画に眼にし、ブッダと禅師の教えに触れた人が、この混迷の時代を生き抜く糧とし得る機会とすることに、主意が置かれています。

者・岡潔（一九〇一〜七八）の言葉です。目先の差別的事象に囚われているが故に、とかく総体的な姿を見失い、したがって本質的な問題の所在がどこにあるかがわからなくなってしまう傾向が強い中で、諸般の事象の本質を見抜く岡潔の視線は群を抜いており、それに沿って静かに世情を眺めるならば、多くの人が、岡潔のこの言葉に深く感ずるものがあると念います。

この点で、ブッダ（Buddha、悟りを開いた人、の意）のことばが、真・善・美という、社会の質を決める文化的価値をまじめに問うことが失なわれつつある現代にあって、まさに闇を照らす灯明であることは歴史的事実が物語っています。



暫時不在



達磨像



大燈国師像

白隠禅師の書画を見る

一九五一年九月、戦後処理を話し合ったサンフランシスコ講和会議の席上、スリランカのジャヤワルダナ大統領が、「実にこの世において、怨みに報いるに怨みをもつてしたならば、ついに怨みの息むことがない。怨みをすててこそ息む。これは永遠の真理である。」（『ダンマパダ』五）というブッダのことばを引いた演説において、日本に対する賠償請求放棄を宣言され、また、この演説によって本州と北海道の分割統治を免れた歴史的事実。あるいは、Hind Swaraj（『インドの自治』）なる書物を著して、satyāgraha（真実の把持）を重んじ、西欧文明の根底をなしている問題を深く内省することによってインド独立を果たしたガンジー（生誕一五〇年を迎えた）の思想と運動は、ブッダが教えた^{※四諦}の教えに通底しているものであることなど。

ガンジーの数少ない所持品の一つであった質素な丸い眼鏡を愛用したあのビートルズのジョン・レノンが、禅画を愛し、「アップル」の創業者のひとりであるステイブ・ジョブスに影響を与えたことはよく知られているところです。

これらの偉業に見られる基幹的な姿勢は、共に「内道（うちみち）我が内にある心」を省み究める道」的であるという点です。逆に言えば、このような偉業をなし得る真実を見失い喘いでいる今日の諸状況の基幹的問題性は、人々の心持ち、行いが「外道（げどう）的であるということ」です。

内道とは、諸般の悩み・問題の原因を自分の外に求めて、その排除乃至軽減化において解決に向かおうとする姿勢とは真逆で、自らの内、すなわち心を省みて、



日印文化交流ネットワーク事務局長
堀内伸二
（ほりうち けんじ）

戦後の世情を鑑みるに、気候変動や人心の悪化に加え、昨今の新型コロナウイルスの流行も伴い、人は不安にさいなまれ、社会も安定を失っております。このような時にこそ、不安をいなく心を大安心へと転じ、真に安定し得た偉大な人格に触れることは、事柄の本質的改善に非常に大切なことである、との思いからです。

数学者・岡潔の言葉

「世界の知力が低下すると暗黒時代になる。暗黒時代になると、物のほんとうのよさがわからなくなる。真・善・美を問題にしようとしてもできないから、すぐ実社会と結びつけて考える。それしかできないから、それをするようになる。それが功利主義だと思えます。西洋の歴史だって、ローマ時代は明らかに暗黒時代であって、あのときの思想は功利主義だったと思います。人は政治を重んじ、軍事を重んじ、土木工事を求める。そういうものしか認めない。現代もそういう時代になってきています」とは、日本が生んだ天才的な数学者

白隠禅師の「心」を 今に生かすために

実は、このような趣意のもとに展覧会の開催がなされた淵源は、白隠禅師の書画について、仏道の実践に裏打ちされた確かな批評眼を有しておられた故中島玄奘老師（松蔭寺前管長）と、仏教学の立場から確かな解説を約された故中村元博士（一九二二〜九九、初代東方学院院长）との意気投合があったことにありますが、この度、白隠宗大本山・松蔭寺と公益財団法人永青文庫が所蔵している秀逸なる貴重な書画を巡回展示するに当たっては、「文化財の保護と活用」という視点から京都大学で開発された高精細スキャニング技術を用いて精密に原書画を複製されたハシモトコーポレーションの技術力に由るところ大なるものがあります。

この度の世界初となる試みが、この種の貴重な作品の保護と活用・展示に一石を投ずることになれば幸いです。

筆者略歴

一九五八年生まれ。東大卒。専門は仏教教理学。インド思想、東洋思想、比較思想の世界的権威である中村元博士の薫陶を受ける。博士没後、博士の命により中村元著「広説佛教語大辞典・全四巻」、同「大乘仏典翻訳・シリーズ全七巻」等の編纂を行う。長年、仏教、東洋思想、宗教学等を講じた。一般若心経手帳など著書多数。また、編著書「仏教の事典・朝倉書店」で第六八回毎日出版文化賞を受賞。

※原始仏教の中心の教説とされる。「諦」は真理の意。人生に関する四つの真理。人生は苦であるという真理（苦諦）、苦の原因に関する真理（集諦）、苦を滅した悟りに関する真理（滅諦）、悟りに至る行法に関する真理（道諦）。—— 広辞苑による（編集部注）

三の丸尚蔵館の「新国宝」をみる

超一級の作品ながら、
これまで国宝の指定を受けていなかった
貴重な美術品。その裏にあったのは……。

「御物」から「国宝」へ

本年七月十六日、文化審議会は文部科学大臣に対して宮内庁三の丸尚蔵館が保管する五件の作品（絵画四件、書跡一件）を国宝に指定することについて答申し、九月三十日の官報告示をもって正式に指定された。当館の収蔵品が文化財指定されるのは初めてのことで驚いた方も少なくなかったと思う。あるいは今回指定された「蒙古襲来絵詞」や「唐獅子図」などは教科書にも掲載される見慣れた作品で、むしろこれまで指定されていなかったことに驚いたという方もあろう。

当館収蔵品の中心をなすのは昭和天皇の時代まで皇室が護り伝えてきた美術工芸品で、平成元年（一九八九）に上皇陛下と香淳皇后より国へ寄贈されたものである。それまでは「御物」すなわち皇室の所有品として宮内庁でそれらのお世話を担っていたが、国への寄贈後は皇居東御苑に設けられた当館で引き続き保存管理を行い、調査研究や修理も施し、また広く一般に公開してきた。宮内庁によって保存の措置や美術工芸品としての価値付けも充分に行っており、旧「御物」という独特の文化的価値付けを伴う一群として『文化財保護法』に基づく国宝・重要文化財に指定する必要はないと考えられてきた。

時代の要請

ところが当館の収蔵品が様々な博物館施設でも展示されるようになり、各所の指定文化財と一緒に陳列される機会が増えると、当館収蔵品の題名には国宝とも重要文化財とも記載がなく、それらがどのような価値のものか判りにくいという指摘を受けるようになった。現状では単に未指定文化財ということになってしまふ。

宮内庁に設けられた三の丸尚蔵館収蔵品の保存・公開の在り方に関する有識者懇談会の報告書（平成三十年六月）では「多くの人々にとっては、国宝や重要文化財に指定されることが、文化財の価値判断の基準として広く理解されている」とし、当館の収蔵品も「国宝や重要文化財の指定を含め、貴重な作品の美術史的・歴史的・学術的な価値を分かりやすく表示することを考える時期に来ている」との提言があった。作品の価値表示には様々な方法が考えられるが、一般の方々に分かりやすいという点を重視すれば、やはり既に定着している「国宝」や「重要文化財」という表象がもっとも適切なだろう。文化庁では準備の整った五件の指定に向けて調査を進め、宮内庁としても協議に応じ調査に協力してきたところである。

新国宝の横顔

今回、新たに国宝となった作品は次の五件である。

一、春日権現験記絵 高階隆兼筆 二十巻 鎌倉時代

本作は奈良・春日大社の霊験譚を描く絹本に描かれた絵巻で、全二十巻に九十三段の説話が盛り込まれる。西園寺公衡が延慶二年（一三〇九）に記した



高階隆兼筆 春日権現験記絵 巻第三（部分）
鎌倉時代後期を代表するやまと絵絵巻。豊麗な色彩を駆使した当時最高の絵師による基準作。

宮内庁
三の丸尚蔵館
朝賀浩
(あさかひろし)



二、蒙古襲来絵詞 二巻 鎌倉時代

目録から本作の制作経緯や詞書筆者、絵師などが判明する。当時の人々の活き活きとした生活の様子がうかがえ、また豊麗な色彩で背景の山水や点景の花鳥が描かれ、動物たちの姿にも細かい目が行き届く。目録の他に旧表装や藤枝文様をあしらう蒔絵箱が付属し、併せて附に指定された。

現状は前後二巻で、文永十一年（一二七四）と弘安四年（一一八二）の二度にわたるモンゴル軍との戦いに参戦した肥後国の御家人、竹崎季長の活躍を描く。同時代の事件を克明に描く点が特長で、特にモンゴル軍の装備や姿を捉える資料として極めて貴重。現状の構成はやや混乱するが、これは事件の進捗に応じて絵巻を段階的に改変、再調整して制作したことも原因とみられる。東アジアの歴史的大事件を描く絵画資料として傑出した価値がある。



蒙古襲来絵詞 前巻（部分）
当時の御家人の武具甲冑や馬具、蒙古軍の装備などが克明に描写された歴史資料としてもたいへん貴重。

四、動植綵絵 伊藤若冲筆 三十幅 江戸時代

屏風として伝わる。今回、常信隻も附として指定された。



狩野永徳筆 唐獅子図屏風
織田信長や豊臣秀吉ら天下人の御用を担った永徳による力強く絢爛豪華な桃山絵画の代表作。

山絵画の最高傑作。狩野永徳は安土城や大坂城などで絢爛豪華な大画面障壁画を描いたと伝えているが、それを彷彿とさせる遺品は本作が随一である。かつて毛利家に伝来し、本作を右隻として狩野常信が左隻を補作し現在まで一雙

江戸中期に京都で活躍した伊藤若冲の作品で、本作を相国寺に寄進した際に若冲自身が「動植綵絵」という名称で呼ぶ。本来、釈迦三尊像の周囲を荘厳する画像として構想され、全三十幅にわたり多様な

伊藤若冲筆 動植綵絵のうち秋塘群雀図
相国寺に寄進するために描かれた、緻密な描写による写実性と裝飾性を兼ね備えた若冲画の到達点。



五、屏風土代 小野道風筆 一巻 平安時代

動植物を緻密な描写で捉え、これを約十年かけて順次完成させた。数ある若冲画の最高傑作であるばかりか、近世花鳥画の展開においても他に追隨を許さない独自の到達点に至る。

本作は醍醐天皇が命じて大江朝綱に作らせた漢詩を小野道風が屏風の色紙形に書き付けた際の試し書き。「土代」とは下書きをいう。記録から延長六年（九二八）のことと分かる。道風は藤原佐理、藤原行成とならぶ平安時代の能書家「三蹟」の一人で、和様の書風を創始し、我が国の書流に大きな影響を及ぼした。巻末には藤原定信による識語があり、保延六年（一一四〇）に定信が本作を入手したこともわかる。



小野道風筆 屏風土代（部分）
平安時代前期に和様の書風の基礎を築き、三蹟の一人として著名な道風による豊潤にして力強い筆跡。

今後の展望

文化庁では当館所蔵作品の指定調査を今後も計画的に継続するとしており、指定品は徐々に追加されると見込まれる。宮内庁としては指定されたことを受けて、その芸術的、文化史的、学術的価値が明確になった作品について、これからもしっかりと保存管理を講じた上で、多くの方々にご覧いただく機会を一層充実させていきたいと考えている。

トロンボーンと世界の演奏スタイル

その荘厳な響きから
神の楽器とも称されたトロンボーン。
あの「運命」で交響曲の演奏に登場して以来、
クラシック音楽でも必要不可欠となった
楽器の演奏変遷史を俯瞰する。



東京藝術大学
音楽学部管打楽科・教授
古賀 慎治
(こが しんじ)

自己紹介

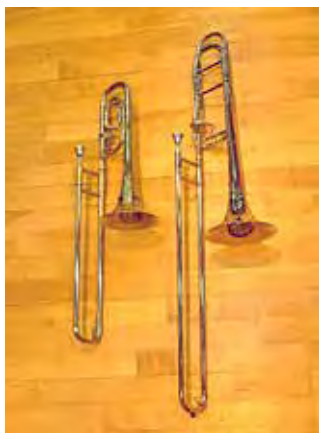
はじめまして。私は東京藝術大学音楽学部でトロンボーンを教えております古賀慎治と申します。今回は様々なトロンボーン演奏スタイルの変遷をたどることによって、トロンボーンという楽器の一面を知っていただく機会になればと思います。

トロンボーンのルーツ

管楽器の音程は、管の長さによって決まります。長いほど低い音になり、短いほど高い音になります。中世の金管楽器は管の長さを変える機構がまだ十分に発達しておらず、半音階を演奏することができませんでした。伸び縮みするスライドによって例外的に自由に半音階を演奏出来たトロンボーンは、十五世紀頃、ヨーロッパでスライドトランペットから派生したと考えられていて、現代に至るまで基本的な構造を変えることなく発展してきた唯一の金管楽器です。教会で合唱とともに演奏されてきたトロンボーンは、神の楽器とも呼ばれました。

それまでもオーケストラの中で、トロンボーンを

合唱と一緒に用いた例はありますが、現在一般的に知られた交響曲の中で、トロンボーンが初めて登場したのは、ベートーヴェンの交響曲第五番「運命」といわれています。「運命」では第四章からトロンボーンが登場します。それまでの教会音楽の合唱の補助的な役割から、純器乐的な用方をされた記念碑的な作品です。この作品があったからこそ、今日のオーケストラの中のトロンボーン役割が確立されたのだと思います。



左はベートーヴェンの交響曲で使うアルトトロンボーン、右は一般的なテナートロンボーン

クラシカルトロンボーンの演奏スタイルの変遷

ところで、クラシックのトロンボーンの演奏スタイルほど、私が演奏して来た、この三十〜四十年ほどの

な音色感が特徴です。現代では大きめのユニバーサルタイプの楽器が使われていますが、パワーで押す人はあまりいない印象です。ことフランスに限ってはフレンチスタイルの演奏は今も色濃く残っています。

日本では、全体的に楽譜上に書かれた音符やアーティキュレーションにこだわり、演奏やフレーズ感、サウンド感と言ったものが、私には少し硬く感じる演奏が多かったような印象があります。全体を俯瞰するより細部の仕上がりの方に重きを置く日本人の特徴なのかもしれません。楽器はユニバーサルタイプが使われてきました。現代の特に若い世代では、ユニバーサルな演奏スタイルになってきています。

若いころの私は、日本にいながら聴くことのできる、世界の中でも限られたトロンボーン奏者の演奏から、世界で通用するユニバーサルな演奏スタイルというものが、どこかにあるはずと考え、それを探すために国際コンクールに三回挑戦しました。当時は結局その求めていたスタイルは分からずじまいでした。私が大学時代に二年間師事した旧東ドイツのドレスデンから来日されたアロイス・バンブーラ教授に叩き込まれた、古いドイツスタイルの演奏法を、私なりに理解して消化した私の現在の演奏スタイルは、回り道をして手に入れたものですが、結果的には現代のユニバーサルな演奏スタイルに、少しは近づくことが出来たのかなと感じています。

最後に

現代はインターネットを通じて、労せずして多くの方々の方々の演奏に手が届きますし、またコロナ禍になってからは、演奏家たちは先を競ってインターネット上に自分の演奏を披露することをはじめたので、今はリスナーにとっては本当にたくさんの演奏



2021年、新日本フィル定期

間に激変したものはないと思います。演奏スタイルとは、演奏上の方言のようなものと言うと分かりやすいと思いますが、一九七〇〜九〇年あたりまで、まだまだ世界の各地でトロンボーンの演奏スタイルは個性的でお国訛りのような特徴がはっきりしており、演奏を聴けばどの出身か、または教育を受けたところがわかりました。しかし、現代では世界で演奏スタイルの共通語化が進んでおり、演奏からはどの国の人か分かり難くなってきました。

昔の各地の例をあげてみますと、アメリカは非常に合理的で楽譜に忠実。アーティキュレーションに関しては寛大。ヴィブラートはあまり使わず、太めの音が好まれました。

旧ソビエト連邦、今のロシアは共産主義で閉鎖的な国だったためか、楽器はあまり当時の最新式のもがなく、豊かに鳴らすというよりはパワーで鳴らすタイプの情熱型の演奏が多い印象です。またヴィブラートを多用し、とても音楽的に歌い込んだエスプレッシヴィオな演奏で、癖はかなり強いですが感動もまたひとしおでした。

旧東ドイツは、伝統のドイツタイプのトロンボーン(管が細くベル(ラッパ部)が大きい楽器)を使うので、少し暗めのいぶし銀のサウンドが特徴的です。フレー

にどこにいても接することが出来て、幸せな時代と言えます。

それでも私が大事にしたのは、やはり実演に接する体験です。私自身LPレコードやCD、テレビやFMラジオ



2019年、「DAC主催、FromDシリーズ 古賀慎治リサイタル」リハーサルより。古賀ラトロンボーンアンサンブル(教え子)の伴奏で演奏

オ、そして今はネット配信や動画配信といったものを足がかりとして、興味を持った演奏家の生の演奏に接することが何より楽しみです。世界からこれだけたくさんの方々が来訪する東京という都市は本当に貴重です。トロンボーンを通じて世界の演奏スタイルのお話でしたが、少しでもトロンボーンの実演に興味を持っていただけたら幸いです。

― 筆者略歴 ―

東京藝術大学音楽学部教授・新日本フィルハーモニー交響楽団契約首席奏者。
東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。トロンボーンを三好隆三、永濱幸雄、A・バンブーラ、神谷敏の各氏に師事。一九八五年日本管打楽器コンクール・トロンボーン部門第一位。一九八七年アラハの春国際音楽コンクール・トロンボーン部門ファイナリスト、ディプロマ受賞。新日本フィルハーモニー交響楽団首席を経て二〇一二年三月まで東京都交響楽団に在籍。二〇一二年度より東京藝術大学音楽学部准教授、二〇二二年度より教授職、管打楽科主任。日本音楽芸術学会会員、日本トロンボーン協会理事。

ズ感や歌い方も、まさにドイツの伝統スタイルという感じがします。旧東ヨーロッパ諸国は旧ソビエトの影響を強く受けており、ヴィブラートを多用する奏法が多いです。リズムやアーティキュレーションに関してはとても厳格です。

旧西ドイツは政治的事情もあってか、旧東ドイツよりオープンで整った感じの演奏が強く印象に残っています。当時は伝統的なドイツタイプの楽器を使う人が多かったのですが、現在ではアメリカンタイプ(ユニバーサルタイプ)の楽器を使う人が多いです。

フランスは今も昔も個性的です。ジャズで使われているような細い管のサイズと小さめのベルサイズのフレンチタイプのトロンボーンが使われていました。スライドを細かく動かすスライドヴィブラートも多用されましたが、絵画の印象派に通じる華やかで色彩豊か



トロンボーン・ファミリー。トロンボーンは、その音域や機能などによって幾つかの種類がある

上野の杜から

上野動物園 双子のパンダ成長記

新型コロナウイルス感染症が
はびこる世において、
一筋の光明となった双子の
パンダの成長記。

ジャイアントパンダの 不思議

ジャイアントパンダは動物分類学では、クマ科に分類されています。しかし、最近の研究によると竹を食べるように進化したジャイアントパンダの顎は、他のクマでは退化した前臼歯が発達し、顎の関節や歯のかみ合わせが独自に進化したことが分かっています。独特の体色や食性などジャイアントパンダはとても不思議な動物種です。それは、動物園にとっては高度な飼育技術が要求される動物種であるとも言えます。その一つが繁殖です。ジャイアントパンダの繁殖は、交尾には雌雄の相性が重要で、しかもメスの発情は数日間しかありません。「偽妊娠」と呼ばれる不可解な現象もありますし、子の体重はわずか一五〇グラム程度でとても小さいなど複雑です。近

ジャイアントパンダ 誕生の歴史

上野動物園では、今回の出産を含めて七頭のジャイアントパンダが誕生しています。最初の子は、一九八五年六月二十七日のオスの「チュチュ」です。父親は「フェイフェイ」で、母親は「ホアンホアン」です。残念ながらチュチュは二日齢で圧迫により死んでいます。翌年、一九八六年六月一日にメスの「トントン」が誕生し生育しています。続いて二年後の一九八八年六月二十三日にオスの「ユウユウ」が誕生し育つ



7月6日 13日齢の子どもたち
(左：メス、右：オス)

かに見守りました。トントンは生後一三四日齢で、ユウユウは生後一五三日齢で初めて体重測定が行われ、トントンは約五キロ、ユウユウは約八キロでした。その後、一九九〇年代に中国の専門家を中心に世界中の動物園関係者が協力して様々な研究がなされ、ジャイアントパンダの飼育下繁殖に関する技術が確立されました。今では、すべての子を育てるために、二頭出産であれば一頭は母親が哺乳し、他の一頭は保育器の中で飼育係が哺乳します。適当なタイミングで二頭を入れ替えて、哺乳を継続します。保育器内の子には搾乳した母乳を与えますが、成長とともに要求量が増え搾乳が不足しがちになるので人工乳を加えて乳量を調整します。

朗報

今回の取組みでは、シャンシャン誕生の時とは異なり様々な課題がありました。昨年夏にオープンしたばかりの新しい施設の使用、中国の専門家とのオンラインによる意思疎通、担当飼育係の新型コロナウイルス感染症防止、複数頭が誕生した時の対応など、検討課題は尽きませんでした。準備が進む中、出産の日を迎えました。前日の午後にはシンシンが産室を歩き回る様子が見られました。六月二十三日の未明に破水があり、一頭目を出産しました。子は元気な産声を上げシンシンが抱きかかえました。シンシンが一生懸命に子をなめる音が聞こえました。二頭目の誕生は、それから一時



10月4日 シンシンとシャオシャオ (103日齢)



10月4日 シャオシャオ・オス (103日齢)



10月4日 レイレイ・メス (103日齢)



公益財団法人
東京動物園協会
恩賜上野動物園
園長
福田 豊
(ふくだ・ゆたか)



ています。ホアンホアンが三頭を妊娠した背景には、当時は最先端の技術だった人工授精技術の適用がありました。トントンは、二〇〇〇年七月八日に十四歳で死ぬまで上野動物園で過ごしました。ユウユウは、一九九二年十一月十三日に北京動物園に移動し、二〇〇四年三月四日に十五歳で死んでいます。

ユウユウから二十四年ぶりとなる二〇一二年七月五日、自然交配によりオスの子が誕生しました。両親は二〇一一年二月二十一日に来園した「リーリー」と「シンシン」です。しかし、肺炎を患い六日齢で死んでしまいました。五年後の二〇一七年六月十二日、メスの「シャンシャン」が誕生しました。シャンシャンは順調に成長し、早いもので今では四歳になりました。シャンシャンは上野動物園の東園パンダ舎で元気に暮らしています。シャンシャンの体重

に増えました。生後二〇四日齢となった十月五日の測定では、オスは体重六、〇〇〇g、メスは体重六、〇五〇gとなり二頭ともにスクスクと育っています。

今後、子が器から乳を飲むようになるまでは、母親のシンシンと飼育係が協力して哺乳をしなければなりません。それまでは気の抜けない飼育管理が続きます。

名前がきまりました

ジャイアントパンダは、中国では生後一〇〇日齢前後で名前を付ける習慣があります。上野動物園では候補となる名前を八月七日から二十日までの二週間にWEBサイトなどを活用して公募しました。その結果、約十九万三千件の応募がありました。お寄せいただいた名前の中から、ジャイアントパンダ名前候補選考委員会での検討や中国野生動物保護協会との協議などを経て、オスは「シャオシャオ(暁暁)」、メスは「レイレイ(蕾蕾)」と決まりました。

は九十キログラムを超え、大分大きくなりました。

飼育技術の向上



6月23日 保育器に移したジャイアントパンダの子ども

令和三年三月六日、リーリーとシンシンに四年ぶりに交尾が確認されました。六月二十三日に上野動物園としては、初めての双子(六頭目と七頭目の二頭出産)が誕生しました。リーリーとシンシンもそれぞれ双子でした。ジャイアントパンダの出産は、半数近くが複数頭だと言われています。詳しいことは分かっていませんが、交尾により複数個の受精卵が出来、いくつか着床し、生育して一頭から三頭が誕生するのでしょうか。しかし、ほとんどの母親は一頭しか育てません。多くの場合、他の子は死んでしまいます。トントンとユウユウの時代の飼育方法は、母親を産室に巣ごもりさせ、出来る限り刺激を加えないように静



10月4日 シャオシャオ(左)とレイレイ(右)：(103日齢)

明るい夜明けから美しい花が咲く未来へのつながりをイメージさせる良い名前だと思います。二頭が、希少野生動物であるジャイアントパンダの未来を明るく照らし、多くの人に愛されることを願っています。

写真はすべて(公財)東京動物園協会提供

筆者略歴

昭和三十四(一九五九)年東京都出身。獣医師、博士(学術)。昭和五十九(一九八四)年、東京都庁に入都。葛西臨海水族園長、多摩動物公園副園長、恩賜上野動物園副園長、多摩動物公園長などを経て、平成二十九(二〇一七)年4月から恩賜上野動物園長に就任。第十五代恩賜上野動物園長としてジャイアントパンダの「シャンシャン」や上野動物園初の双子の誕生に携わる。平成二十八(二〇一六)年5月から公益社団法人日本動物園水族館協会の会長を務めている。

役員等のご紹介	
当財団の役員等を左記のとおりご紹介します。 令和三年十月現在 敬称略／五十音順 ◎理事（十名） 理事長 澤 和樹 東京藝術大学 学長 副理事長 青柳 正規 東京藝術大学 社会連携センター 特任教授 専務理事 小宮 浩 当財団 専務理事 理事 石井 直 (株) 電通グループ 相談役 伊東信一郎 A N Aホールディングス(株) 取締役会長 滝 久雄 (株) N K B・(株) ぐるなび 取締役会長兼創業者 (公財) 日本交通文化協会 理事長 谷川 史郎 N T T都市開発(株) 社外取締役 長岡 勤 (株) 東京ドーム 代表取締役社長 西浦 忠輝 (特非) 文化財保存支援機構 副理事長 野口 昇 (公社) 日本ユネスコ協会連盟 顧問 ◎監事（二名） 西巻 茂 税理士 布施 謙吉 弁護士 ◎評議員（二十名） 安齋 尚志 (株) N H Kエンタープライズ 経営主幹 井上 洋一 奈良国立博物館 館長 浦井 正明 寛永寺 貫首 大杉 栄嗣 大塚オーミ陶業(株) 代表取締役社長 是枝 伸彦 (株) ミロク情報サービス 代表取締役会長	

酒井 裕 (株) 精養軒 代表取締役社長 佐藤 一郎 東北生活文化大学 学長 白井 勝也 (株) ヒーローズ 代表取締役社長 澄川 喜一 島根県立石見美術館 館長 高橋 司 (公財) 鹿島美術財団 専務理事 太刀川俊明 (株) 三越伊勢丹 長本 裕司 (株) 高島屋 M D本部 美術部長 野間 省伸 (株) 講談社 代表取締役社長 原田真由美 読売新聞西部本社 事業推進室長 日比野克彦 東京藝術大学 美術学部長 福田 豊 恩賜上野動物園 園長 真室 佳武 鎌倉市鶴木清方記念美術館 館長 門司健次郎 富士通(株) A Iサービス事業本部 シニア・アドバイザー 横田 尤孝 青陵法律事務所 弁護士 渡辺 雅隆 (株) 朝日新聞社 顧問 ◎顧問（二名） 玉井 賢二 東京藝術大学 客員教授	
賛助会員ご入会とご寄付を頂きました皆様 ◎令和3年6月1日から9月30日まで 敬称略／順不同 ☆賛助会員 ○個人(正)会員 ☆寄付金 ○文化財保存修復・芸術研究等助成事業に対する寄付 ヤフーネット募金(91名様) (宗) 覚皇山 永明寺 武井熊野神社	

○熊本地震被災文化財救援・復旧支援事業に対する寄付 ○尼門跡寺院文化財保存修復助成事業に対する寄付 ○サルナート(インド)野生司香雪の仏伝壁画保全支援事業に対する寄付 ○東日本大震災被災文化財救援・復旧支援事業に対する寄付	
お願い (1)尼門跡寺院文化財保存修復支援事業のための募金のお願 尼門跡寺院の文化財保存修復事業は、故平山郁夫元理事長が上皇后から依頼を受けて実施しているものであり、平成十二年度から開始され平成二十九年度までに二十九件の文化財を修復しています。 今回は、中世日本研究所(京都)、中世日本研究所財団(ニューヨーク)が中心となり、日本だけでなく世界から寄付を募り実施しております。 (2)昭憲皇太后大礼服研究修復元支援事業のための募金のお願 大聖寺門跡所蔵の昭憲皇太后大礼服は、	

明治時代の西欧化、社会変化、殖産興業などを表象する大礼服であり、現存する最古の昭憲皇太后所用の第一礼装であります。貴重な歴史資料であり、近代日本の象徴的遺産として文化財的価値が高いものです。 経年劣化著しい大礼服の修復、欠失している部分(スカート)の復元のため、令和元年度から令和五年度まで募金を行い昭憲皇太后大礼服の研究・修復・復元事業を実施しております。 (3)サルナート(インド)野生司香雪の仏伝壁画保全支援事業のための募金のお願 日本画家・野生司香雪は、昭和七年から十一年に五年をかけてインドの聖地サルナートの初転法輪寺で仏伝壁画を完成させました。その仏伝壁画は、今では我が国在外の稀有な近代芸術の文化財であり、また日本・インドのみならず世界の人々との日本芸術を介した文化交流の大切な記念碑となっています。 日本画の大壁画も制作から八十有余年が経ち、経年劣化が進み剥落が激しく保全措置が必要となり、令和元年度から令和三年度まで募金を行い、仏伝壁画の剥落止め、古写真のデジタル化、壁画デジタル撮影等の保全事業を実施しております。 ＊ 募金のお振込み手続きは銀行振込又は郵便振替によりお願い申し上げます。 ※郵便振替の場合、通信欄に「尼門跡」「大礼服」「サルナート」とお書き下さい。 ＊ 銀行振込(①銀行名②口座番号③名義) ①三井住友銀行 上野支店 ②普通 6615500 ③(公財)文化財保護・芸術研究助成財団 ※銀行振込の場合、振込者の確認が難しいため、領収書、お礼状の発行等の必要上、	
編集後記 外への旅が今日ほど自由ではなかった時代である。それだけに夫妻にとって、心に強く残った旅だった。 本作品は画伯の晩年の作品になる。砂漠を行くキャラバンには、帰果本能的な郷愁にも似た画伯の想いがこめられているように思える。アフガニスタンの地を愛した画伯は泉下で、今日の混乱をどんな想いで見ておられるのだろうか。	
お知らせ ◎理事長CDプレゼント 澤和樹理事長が就任したことを記念して、新規に賛助会員に入会された方、及び三万円以上ご寄付を頂いた方に澤和樹のCD「ヴァイオリンでうたう日本のこころ」をプレゼントします。 この機会に賛助会員ご入会、ご寄付をお待ちしております。 なお、すでに賛助会員になられている方には令和三年度会費納入時にお届けします。	
今号の表紙 平山郁夫 アフガニスタンの砂漠を行く2007 平山画伯は、その生涯の中で美知子夫人を伴って何度となく海外の旅をされている。一九六八年にアフガニスタンのバミアンへの旅が、その始まりだった。海	
★令和三年十月二十五日発行 ★編集発行／公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団 事務局◎ 〒110-0007 東京都台東区上野公園十二一五十五 電話(〇三)五六八五一三三一一 F A X (〇三)五六八五一五二二五 URL:htp://www.bunkazai.or.jp/ E-mail:jimukyoku@bunkazai.or.jp ★印刷 篠田印刷株式会社	